学校番号	120

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育（実教出版）						
副教材等	子どもの発達と保育　学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・子どもの発達の特性や発達過程，保育などの様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもち、広げていきましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい地域生活をめざします。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し，創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作品、観察記録表、レポート、発表、定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、製作計画、実習記録表、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7 月	子どもの保育	○保育の意義と重要性 ・保育とは ・人間形成と保育 ○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育 ○保育の方法 ・保育者の役割 ・指導のポイント	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a:子どもの発達や子育て支援について関心をもち，実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。 b:子どもの発達や子育て支援などついての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達や子育て支援などについて対応する技術を身に付けている。 d:子どもの発達や子育て支援などついて理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		1 学期末考査		○	○	○		定期考査
8 9 10 11 12 月	子どもの生活	○生活と養護 ・衣生活と育児用品 ○子どもの遊び ・生活と遊び ・遊びの援助 ＊絵本製作 ○生活習慣の形成 ・生活習慣の意義 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:子どもの遊びや生活習慣の形成について関心をもち，実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。 b:子どもの遊びや生活習慣の形成についての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの遊びや生活習慣の形成などついて対応する技術を身に付けている。 d:子どもの遊びや生活習慣の形成などついて理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		2 学期末考査		○	○	○		定期考査
1 2 3 月	子どもの生活	○健康管理と事故防止 ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防 ・事故の防止と応急処置	○	○	○	○	a:子どもの健康管理や事故防止などについて関心をもち，実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。 b:子どもの健康管理や事故防止などについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの健康管理や事故防止などについて対応する技術を身に付けている。 d:子どもの健康管理や事故防止などついて理解し、知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		学年末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。